

市バス19、39、38、31系統の増便はじめ市バスの充実を、住吉台くるくるバスに敬老パス・福祉パスの適用を

「市民の足を守る東灘区の会」の皆さんが9月26日、集められた市バスの要望署名2,500筆を神戸市交通局に提出されました。私と西市議が同席いたしました。

“甲南病院が送迎バスを出して乗客が減った”などの理由で4月、減便されましたが、送迎バスを利用する方と市バスの乗客はほとんど重ならず理由にはなりません。

出席された同会の方が、「これまでは座れていた時間帯も混雑し立たざるを得ず、坂道・急カーブの道で立って乗るのは本当につらい」など、次々と実情を訴えました。

私も、減便を回復するとともに、通勤・通学時間帯の増便など充実も求めました。

対応した自動車部長は、「減便の影響の調査、ラッシュ時の調査を行い、適切に対応する」と答弁しました。利用しやすい市バスにしていきたいため、引き続き皆さんとがんばります。



▲神戸市交通局自動車部長に署名を提出(市役所。後列右から、きだ、西市議。9月26日)



▲街頭でも多くの方に署名いただきました。(阪急御影駅近く。9月22日)

主要要望項目

- 19、39、31、38系統の増便、始発・終発の延長
- 渦森台～阪急御影駅間のバス路線新設
- 渦森会館前にバス停の設置(31、38系統)
- 運転免許証を自主返納した65歳以上の方を敬老パスの対象に
- 乗継割引の制限時間(60分)の延長を(減便で乗継に60分を超えるようになった)
- 住吉中学校の下校時に臨時便を
- 住吉台くるくるバスに敬老パス・福祉パスの適用を
- 御影山手～阪急御影駅間のバス路線新設
- 35、37系統など本数の少ない路線の抜本的な増便
- 手すり・吊り革の安全向上



イノシシ被害の根絶を



イノシシによる人身被害をなくすため防護柵設置、餌付け禁止の強化、パトロールなど対策を求めました。

この間、六甲アイランドでも目撃。予算と人員の拡充をひき続き求めていきます。イノシシを目撃した時は下記まで連絡を。

東灘警察署

☎854-0110

あるいは 110番

神戸市鳥獣相談ダイヤル

☎333-4408

8時～21時、年中無休

薬剤師きだ結のインフォメーション

認知症で障害者手帳。医療費・税負担の軽減も

「医療費が高くて困っている」というご相談を受ける場合があります。心身の状態によって障害者手帳の取得ができ、医療費や税(所得税、住民税、自動車税など)の負担が軽くなったケースがあります。

認知症で障害者手帳(精神障害者保健福祉手帳)がとれる場合があります。記憶、社会的行動などについて各障害の有無や日常活動の制限の状態を手帳の等級を判断します。

- 診断は、認知症によって1人で日常生活を送りにくくなっている度合いをみます。家族の方などが、日常生活で困っていることを医師に具体的に伝えてください。
- 認知症の診断を受けた半年後から申請可能です。

まず、医師に手帳取得の意思を伝えて、相談してみてください。

日本共産党 県会議員



きだ KIDA 結 YUI ● 県会だより

(東灘事務所) 〒658-0053 神戸市東灘区住吉宮町3丁目15-8 TEL.078-414-8875 FAX.078-414-8876 (日本共産党県議団控室) TEL.078-341-7711 FAX.078-351-3139

きだゆいプロフィール ● 1970年生まれ。神戸女子薬科大学卒。薬剤師。東神戸病院などに勤務。● 95年の阪神・淡路大震災で被災、医療分野で被災者救援に従事。● 2011年、県議員に初当選。健康福祉常任委員、文教常任委員、産業労働常任委員、総務常任委員を歴任。● 渦森台在住。家族は夫、中3と小6の女の子。● 東神戸医療互助組合理事、東灘民主商工会顧問、保育所父母の会元会長。



きだ結 検索 クリック

2018年度 県予算に対する申し入れ

9条を守り、生かした平和外交を国に 教育、福祉手厚い県政を

11月10日、2018年度の予算編成について、井戸知事に申し入れを行いました。

今年の要望項目は581項目。安倍政権の9条改憲の動きに対し国に反対の意思表示を、神戸製鋼石炭火力発電所新增設の中止、私立高校授業料軽減補助(*)の拡充を、35人学級を小・中学校全学年に拡大を、民設(保護者運営等)学童保育の補助の増額を、国民健康保険料の引き下げのために県補助の増額などを求めました。

▼各議員から発言(手前後ろ向きは井戸知事)



▲要望書を知事に手渡す(11月10日)

知事は「5期目最初の予算編成。県民に失望を与えないよう581項目の要望をふまえ、予算編成にあたりたい」と述べました。予算編成の本格的な時期に入ります。県民の願いが反映した予算になるよう、がんばります。



※兵庫県の私立高校授業料補助は近隣府県の中でも低く、所得制限の緩和、補助額の引き上げが課題です。ひきつづき補助制度の拡充を求めていきます。

私立高校授業料補助制度

兵庫 県	年収	生活保護・住民税非課税世帯	250～350万円未満	350～590万円未満	590～910万円	
	補助(年額)	379,000円 (国297,000円、県82,000円)	319,600円 (国237,600円、県82,000円)	199,200円 (国178,200円、県21,000円)	118,800円 (国118,800円、県なし)	
京都 府	年収	生活保護世帯	住民税非課税～500万円未満	500～590万円	590～910万円	
	補助(年額)	929,000円 (国297,000円、府632,000円)	650,000円 (国297,000～178,200円、府353,000～471,800円)	228,200円 (国178,200円、府50,000円)	168,800円 (国118,800円、府50,000円)	
大阪 府	年収	生活保護・住民税非課税世帯	250～350万円未満	350～590万円未満	590～800万円	800～910万円
	補助(年額)	580,000円 (国297,000円、府283,000円)	580,000円 (国237,600円、府342,400円)	580,000円 (国178,200円、府401,800円)	380,000円 (国118,800円、府261,200円)	118,800円 (国118,800円、府なし)

年収は世帯合算。家族構成で変わります。補助は上限額。年収910万円以上世帯には、国の支援制度がありません。所得制限をなくし、これらの世帯にも支援を求めています。